



申6号 2022年度

**本日提出!**

## 年末手当等に関する申し入れ

基準内賃金の

# 3.3ヶ月

新型コロナウイルス感染症対応

に対する特別手当として、

全従業員(出向者を含む)対象

# 一律5万円

支払いは、12月6日まで

回答は、11月16日まで

JR東労組は、新型コロナウイルス感染症拡大第7波への対応、記録的な大雨災害の復旧、逼迫する要員問題等を抱える中、安全第一で安定輸送の確保や早期復旧に向けて、職場議論を積み上げ奮闘してきました。また、「**変革のスピードアップ**」のもとに示される施策等の課題や職場で発生する問題が、**安全問題に直結するとの危機感**を持ち、不安や不満を抱きながらも、職場の目線で真摯に向き合い、**組合員の雇用と利益を守るため、健全な労使関係確立のもと会社の発展を目指し奮闘し続けています。**

JR東日本は7月29日、2023年3月期第1四半期決算を発表しました。**連結決算においては、コロナ禍の影響からの反動で全てのセグメントが増収となり、営業収益が2期連続の増収となりました。**単体決算についても、**運輸収入が784億円増となるなど2期連続の増収となり、3期ぶりに全ての損益が黒字に転換しました。**これは、コロナ禍においても、組合員・社員が日々弛まぬ努力を行ってきた結果です。また、お盆期間中の新幹線・在来線のご利用状況(主要16区間計)は、前年比19.8%となり、**足下の業績も順調に推移し、昨年までとは比にならない状況**をつくり出しています。

一方、組合員の生活実感は「**定期昇給カット**」「**ベアゼロ**」「**期末手当4ヶ月支給**」等により年収や生涯賃金も減額されている中、**止まらない物価上昇が拍車をかけ、苦しい生活**を強いられています。物価変動を考慮した実質賃金は5ヶ月連続のマイナスとなり、「**物価上昇に賃金の伸びが追いついていない状況**」との公表もあり、今後さらに厳しさを増していきます。

JR東労組は**夏季手当交渉において、今後も人件費を抑制するかのような経営姿勢に強い危機感**を持ち、「**コロナ禍での弛まぬ努力**」「**物価上昇**」「**黒字見通し**」「**モチベーション維持・向上**」「**人材流出への危機感**」等、職場の声を踏まえ訴えてきましたが、その懸念は払拭されていません。

したがって、**今年度夏季手当交渉における「緊急再申し入れ」交渉の議論も踏まえ、3期ぶりの黒字転換を実現したコロナ禍における「職場の努力」に報い、組合員・社員と家族の生活と、モチベーション維持・向上の実現が必須**です。

**要求満額獲得に向けて、職場からたたかおう!**